



Club Office
京都YMCA本館
〒604 中京区三条柳馬場角
TEL (075)231-4388



1
NO. 383
2012年1月号

「強い義務感を持とう！義務は全ての権利に伴う」

標語

国際会長 主題 “Audere est Facere-To dare is to do”
「とにかくやろう 成せばなる」

アジア会長 主題 “Audere est Facere-To dare is to do”
「とにかくやろう 成せばなる」

入-ガ-ン “Mission with Faith” 「信念をもって使命をはたそう」

西日本区理事 浅岡徹夫 (近江八幡クラブ)
主題 “Contribute to the Community through Active Services with Love” 「ワイズ原点、愛と奉仕で社会に貢献」
副題 “Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal” 「理想を目指して変革と行動！」

西日本区強調月間

IBC・DBC 出逢い、ふれあい、交流でワイズの繋がりを深めワイズ活動の活性化を進めましょう。
廣瀬 一雄 交流事業主任

今月の聖句

「時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。だから、無分別な者とならず、主の御心が何であるかを悟りなさい。」
エフェソの信徒への手紙第5章16節

第32代

会長標語

Let's try!
～ウエストの未来をみんなの手で～

会長 島田 博司
副会長 市橋 清太郎
書記 藤居 一彦・中原 一晃
会計 加藤 秀行

「巻頭文」「新年のご挨拶」

新年明けましておめでとうございます。



会長 島田 博司



昨年7月に会長を就任し早、半年が過ぎました。昨年は東日本大震災というとてつもない自然災害がおこり今もなお行方不明の方がおられ不自由な生活を余儀なくされておられるかたがたくさんおられます。

ここで改めてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに災害に遭われたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

震災から10ヶ月がたち一歩ずつではありますがテレビ番組やニュース等で復興にむけて確実にすすんでいることを実感するとともに原発事故での見えない災害におびえる人々が数多くおられることもこれまた事実です。

私たち社会奉仕クラブが平成24年という新しい年を迎え、継続して自分たちが今できることを話し合い、行動していかなければいけないと言うことを今改めて感じております。震災当初は自粛そして節約と言われてきました。

私自身新年の挨拶である年賀状に『おめでとうございます』という言葉を入れても良いものなのかと思いましたが、そう思っている矢先の朝のテレビの番組で震災に遭われた東北地方の方が私の思う疑問に対して街頭インタビューに答えておられたのを見ることができたのですが、その中で、おめでとうの挨拶をはぶくのではなく、おめでとうの挨拶と共に元気の出るメッセージをいただければ嬉しいと答えておられました。

どうしても災害を外で見ているものは自粛しがちなのですが被災された方は現実と向き合い、私が思っている以上に力強くそしてたくましく精一杯に頑張っておられるんだとその時感じました。その人たちの力に少しでもなれるよう、ウエストクラブでも継続して考えて支援していけることを考え、サポートしていきたいと思えます。

今年の漢字は『絆』でした。絆とは、断つことのできない人と人との結びつきのことであります。会長職の任期でありますあと半年をどのような形で継続してサポートしていくのかを模索して探しだし、時期につなげていければと考えております。クラブメンバーの皆様、私たちもこの絆という言葉に胸にウエストの未来をみんなの手で考えていきましょう。

メンバー数		第一例会		第二例会		ニコニコ		ファンド						
会員	24名	メ	ン	20名	メ	ン	23名	前月繰越	81,718円	ポ	テ	ト	642,659円	
功労会員	1名	メ	ネット	1名	メ	ネット	8名	第一例会	0円	水	ナ	ス	0円	
特別メンバー	1名	コ	メット	0名	コ	メット	18名	第二例会	後報	み	か	ん	後報	
合計	25名	ゲ	スト	0名	ゲ	スト	4名			リ	ン	ゴ	0円	
	95.8%	ビ	ジター	0名	ビ	ジター	0名			サ	ク	ラ	ン	ホ
	メイアップ含む									ダ	ン	ス	0円	
	前月出席率									が	ん	ば	ら	う
	95.8%	合	計	21名	合	計	43名	累	計	81,718円	合	計	645,809円	

第一例会（オープン役員会） 12月8日（木）
交流IBC/DBC委員長 草野 功一

本月は役員会の議案はなく、報告・連絡事項の大半は、本号の発行時には、経過事象や締切期限を過ぎた内容であり、それ以後のスケジュールとして、順延となっていた一泊例会



が2012年3月3・4日となったこと、3月18日の東日本大震災復興チャリティゴルフ大会、大阪高槻クラブ30周年記念例会（4月15日、登録締切3月20日）及び京都部関係のクラシックコンサートの集い（2月15日）の案内があった。この日のメインは、ヘキサゴン西連合による仙台YMCA併設幼稚園の受け入れ被災孤児（園児）への支援金の捻出方法に関する協議事項であり、出席者全員が意見を出し合った。対象児童1人当たり月額2～3万円の支援金の継続的かつ確実な財源としては、会費の増額に勝るものはないが、メンバーの賛同を得ることが難しいのではないかと、では、会費増額に代わる方法はあるのか？ ファンド資金の取り崩し、ニコニコの充当、オークションやバザーの継続実施、交流・Yサ委員会での予算建て等の提案のほか、クラブ規模（メンバー数・財政力）の異なるヘキサゴン各クラブと足並みを揃えることができるのか、区理事（事務局）への働きかけ、クラブ（メンバー）のネットワーク・人脈を通じた他クラブ（メンバー）への拡がりが必要ではないか、対象児への顔の見える支援方法の必要性などの意見交換がなされた。

今後、仙台Y併設幼稚園が受け入れる対象園児（孤児？）の具体的状況、支援する児童や支援を要する経費の内容・内訳等をさらに詳しく把握することと併せて、検討することとなった。

IT勉強会 12月9日（金）
EMC・ドライバー委員 牧野 万里子

12月9日（金）、京都YMCAに於いて、京都部主催のワイズIT勉強会が開催されました。

まず最初に、京都部倉田広報主査より、ソーシャルメディアのコミュニケーションが広がりを見せているなか、ワイズ活動にもSNSを活用することにより、ワイズメンの繋がりをより深めていきましょう、という熱い思いが語られました。

そして、伊藤Yサ主査による、フェイスブックの説明とクラブでの利用の仕方について講座が始まりました。主な内容は、ワイズにおけるITの有効な利用方法、映像・画像・ライブTV中継、SNSを利用して、クラブ内外の連絡を効率良くし、同時に入会候補者を増やす方法やプリテン、IBC・DBCについての活用方法についてでした。



2部の懇親会は、参加者が活発な交流を計りながら、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。当日の参加者は41名、参加者全員が熱心にITを勉強しようという前向きな気持ちの伝わってくる、有意義な勉強会だったと思います。



ウエスト参加者（草野、桂、岩本、河合、牧野、森田メネット）

竹林ワーク 12月10日（土）
地域奉仕・環境委員 福田 英生



非常に寒い中での竹林活動になったというのが、強い印象になりました。

今回は、前回に比べて5人ほど多く、10人ほど集まったと記憶しています。この時期は、草刈りや、焼却作業などでとにかく周辺を綺麗にしています。

私のテリトリーは、笹山ワイズ中心に焼却作業にとりかかりましたが、いつのまにか、森田ワイズとバトンタッチで火を絶やさぬようにいそいそと作業に集中していました。下の焼却場がメインでしたので、上で作業をしていた仲間たちが何をされていたかはあまりわからなかったというのが正直な答えです。

最後に後片付けの際、力仕事をして終了しました。皆さんと合流した際、広場がすっかり雑草を取り除かれ強い印象が残っています。「これは、誰が草刈りをやったのですか」と聞くと全て中原ワイズが担当されていたということでした。凄い

ですねと云いました。一年の締めくくりの活動として、来年に繋げられた事を満足していました。

ここで一言、時間延長が必要になってくるかも知れません。ご検討を。



みかんファンド 12月10日（土）
ファンド委員長 河合 久美子

12月10日（土）正午より、年末恒例のみかんファンドを行いました。今年も野田ワイズのご尽力により、滋賀青果様の構内での受け渡しです。

午前中開催の竹林ワークを終えたメンバーも含め、次々と現地に到着。社員の方の協力も得て、手際よく自家用車等に積み込みが行われ、山と積まれたみかん箱も午後2時前にはすっかり片付くこととなりました。今年は、2L～Sまでの4種類にて、ご家庭で召し上がる方、贈答用とされる方、それぞれお好みのサイズを注文、当日追加分も含め、合計99箱の成果となりました。お味はジューシーで美味しく、年末年始の団欒のお供として、大いに喜んでいただけるものと思います。

ご協力、誠にありがとうございました。



クリスマスキャロリング 12月16日(月)
ブリテン・広報委員長 岩本 敬子

今年の冬、最初の寒い日。12/16金曜日キャロリングに参加しました。

この週の月曜日からYMCAロビーにおいてコンサートが日替わりで開催されました。

16日は、初参加の京都聖母学院中学・高校ハンドベルクワイアによるハンドベルの演奏でした。



クリスマスソングはもちろん、オペラ座の怪人や、喜びの歌など、趣向を凝らした演奏を披露。続いて、平和のためのクリスマスキャロリングサービスが行われました。

聖書のことばがあり、そして榎本牧師による「いまは何どきか」と題してクリスマスメッセージです。今この暗闇のような時期をしっかりと見ておくこと。ずーと続くことはないのだから、その時のことをしっかりと覚えておく為に。のような内容だと思えます。

いよいよキャロリングです。三条Yを出発し、三島亭さん前、寺町公園前、十字屋前、そしてYMCA前で讃美歌を、多少の観客の前で讃美歌を歌ってきました。



会館に入るとトビークラブさんがミルクティとお菓子を。最後はホットな気分でこの日を過ごせましたことに感謝いたします
参加者： 島田会長・桂ワイズ・岩本

第二例会(クリスマス例会) 12月17日(木)
ドライバー委員長 立山 隆一

12月17(土)18:00からクリスマス例会がロイヤルホテル&スパで開催されました。

今回のクリスマス例会は島田会長が、「クラブのみんななどで楽しむ例会にしたい」と意向のもと他からゲストスピーカーを呼ばず、メンバー、ファミリーで楽しむ事をコンセプトとした例会です。

まず開会点鐘、ワイズソング斉唱、会長挨拶の後、



今回参加14名のコメント、マゴメットによるキャンドルサービスが始まり会場内がほのぼのとした空気に包まれました。

ゲスト紹介、委員会報告と進み、そして桂交流委員長からクリスマスメッセージが代読されメリークリスマスの乾杯、食事へと進みしばし歓談後、いよいよ本日のメインイベント委員会対抗かくし芸大会が始まりトップにEMCドライバーチームによる『イリュージョン』?



で幕をあげ、続いてファンドブリテンチームによる『開運!なんでも鑑定団』、そして会長が自らストーリーを考えたYサ・三役チームによる『戦隊者ヒーロー対ショッカー』の劇が行われ安平ワイズの迫真の演技にコケットが泣き出すハプニングもありながら終了。そして笹山ウエスト応援団長による地域



奉仕チームによるウエスト応援団演舞』、そして最後に交流チーム桂ワイズ、森田ワイズ、草野ワイズによる『和風ミュージカル』三人の芸他達者ぶりを見せていただきました。

大いに盛り上がった委員会対抗かくし芸大会も無事終了となり、その後、市橋次期会長サンタと塚本トナカイによりクリスマスプレゼントタイムに移りコメット、マゴメット全員プレゼント



が手渡れました。引き続きメンバー・ゲストによるプレゼント交換、そして本日の委員会対抗かくし芸大会の表彰へと移り見事、栄えある1位はEMCドライバーチームそして2位は交流チームそして特別会長賞は新人の吉川ワイズが獲得されました。おめでとうございます。

そして、Happy Birthday・Anniversary ニコニコタイム・YMCAソング斉唱・次回例会アピールと進み、最後会長による閉会点鐘でクリスマス例会が終わりました。

当初今回の委員会対抗かくし芸大会がどのようになるかと少し心配をしていましたが幕を開けてみたら、大いに盛り上がりメンバー一人一人が楽しめたいい例会であったように思います。メンバーの皆さんご協力有難うございました。お疲れ様でした。



忘年会 12月26日(月)

会計 加藤 秀行

師走も押し迫った12月26日、野田ワイズのお店泰山木にてウエストの忘年会が行われました。

島田期も半期を過ぎようとしておりますが、あと半年、会長を初め役員一堂頑張りましょう。

そして来期の市橋期の三役も発表され、着々と準備も進んでいるようです。さて忘年会は21名の参加者であんこう鍋を美味しく戴き、お酒飲み交わし賑やかな宴となりましたが途中、森田ワイズからヘキサゴンDBCによる東日本大震災被災地慰霊の旅のレポートが配布され現地での生々しい状況や就園支援奨学金制度の提案がされております。いずれにしる息の長い支援が必要でしょう。

忘年会も終え来年の1月は行事も目白押しですが多くのワイズの参加で盛り上げましょう。

「希望」 新しい年がスタートします。

「京都YMCA」に集った子どもたち、青年を中心としたボランティア、学びを共にする学生・生徒、そしてすべてを支えてくださっていますワイズメンの皆さんお一人おひとりにとって、2011年はどのような一年になりましたでしょうか。漢字では「絆」が選ばれましたが、皆さんの選ぶ漢字はどのようなものでしょうか。

絆の意味するとおり、人は一人では勿論、生きることが出来ません。自己を高めることも、愛情を育むこともできません。

会員の皆様には宮城ならびに岩手、そして福島で被災された方々に思いを寄せていただき、さまざまな形で大きな支援をいただいています。このことは被災された方々にとっては、まさに「希望」を生み出す源であり、京都は勿論全国YMCAにとっても大いなる励みであり、心から感謝を申し上げます。

創立123年を迎えます私たちは、公益財団法人京都YMCAならびに学校法人京都YMCA学園という2つの法人格をもつ「京都YMCA」として、京都の地にあつてこれからも、「希望」を生み出すことのできる組織として、それぞれの事業・プログラムが「希望の灯」として光り輝くことができることを願って歩みを強めるものであります。

光が見出し難い社会状況ではありますが、絡まった糸をひとつづつ解しつつ、「希望」に基づく新しい組み方をするることによって優しく強い「絆」のある社会が生み出せるように、2012年もどうぞよろしくお支えいただきますようお願いいたします。

京都YMCA総理事 神崎 清一

2012年1月スケジュール

1/7	日	合同新年例会	18:00	京都ダイヤルホテル & スパ
1/10	火	三役会	19:00	京都三条 YMCA
1/12	木	オープン役員会	19:00	京都三条 YMCA
1/14	土	竹林ワーク	9:00	長岡京市 竹林
1/27	金	EMC シンポジウム	後報	後報
1/29	日	チャリティ・ボウリング	後報	しょうざんボウル

2012年2月スケジュール

2/7	火	三役会	19:00	後報
2/8	木	オープン役員会	19:00	京都三条 YMCA
2/18	土	竹林ワーク	9:00	長岡京市 竹林
2/23	木	TOF例会	19:00	後報

12月役員会議事録

報告事項

- 1, 議事録作成者指名: 立山 隆一
- 2, 前回役員会議事録承認の件: 承認
- 3, WRM3クラブ合同新年例会PT委員会打ち合わせ進捗状況
- 4, 11月19日(土) 竹林ワーク報告
- 5, 11月20日(日) みやこ作業所ふれあい祭り報告
- 6, 11月23日(水) リトセンオータムフェスタ報告
- 7, 11月24日(木) 部長公式訪問について
- 8, 12月10日(土) 竹林ワーク及びみかんファンについて
- 9, 12月17日(土) クリスマス例会について
- 10, 一泊例会について

2012年3月3・4日で行います。場所は愛知県の日間賀島へ行きます。ふぐ料理を食べに行きます。現地集合で費用はクラブから10,000円補助で自己負担10,000~15,000円 詳細はまた後でお知らせします。次期・次々期のことをみんなで話したいと思いますので一人でも多く参加してください。

- 11, 2012年3月18日(日) 東日本大震災復興支援チャリティゴルフ大会の件
- 12, 半年報提出の件
- 13, 上半期会計中間報告準備(1月総会)
- 14, 各事業委員会報告
- 15, 各事業委員会上半期活動報告提出について

他クラブ関係
1, 大阪高槻クラブ30周年記念例会のお誘い4月15日高槻からすまホテル

YMCA関係

- 1, 12月16日(金) クリスマスロビーコンサート ハンドベル キャロリング 18:00開始

京都部関係

- 1, 1月29日京都部チャリティボウリング大会
- 2, 2012年2月15日クラシックコンサートの集い

協議事項

- 1, 森田ワイズの方からお話がありましたヘキサゴンにて仙台YMCAの併設幼稚園での被災孤児への支援

1月 Happy Birthday

松本忠正ワイズ

河合久美子ワイズ

安平知史ワイズ

立山隆一ワイズ



1月 Hapy Anniversary

岩本伸介・香織夫妻

岩本敬子・清夫妻

市橋清太郎・ちさ夫妻

中原一晃・優子夫妻

